


3-4 災害教訓伝承ツール紹介

上述した流域内の既往災害の実績や災害教訓伝承の調査結果をもとに、天竜川上流域における実践で活用できるように災害教訓伝承ツールを作成したので内容を紹介します。この伝承ツールは天竜川上流河川事務所 HP より利用が可能である。

(1) 災害教訓伝承ビデオ

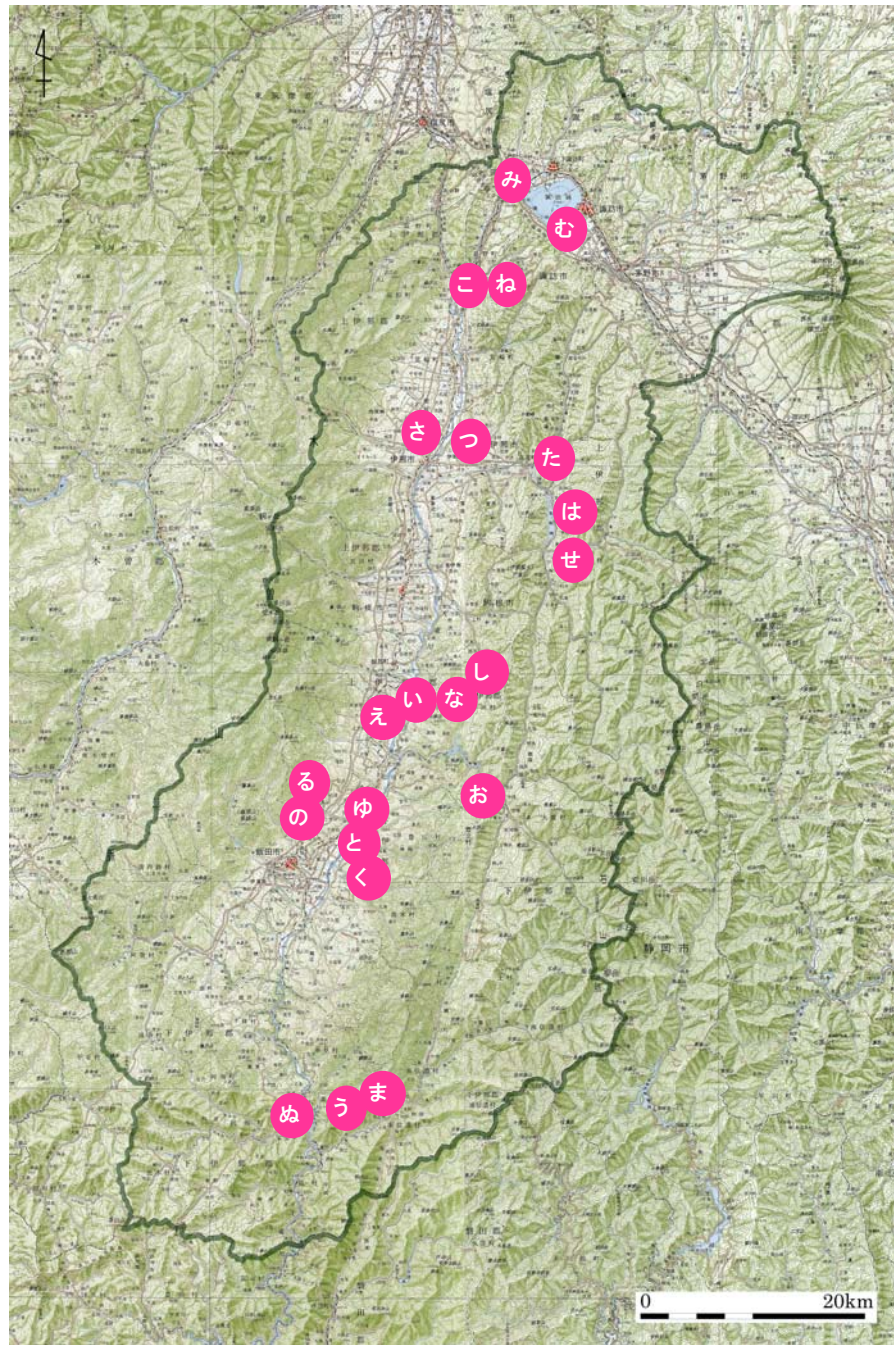
目的	子ども(小学校高学年以上)から大人までを対象とし、無関心から気づきへ到達するための働きかけを行うこと目的とした。なお、地域リーダーなど意識レベルが高い層の場合、映像を見ることにより気づきから正しい理解、さらに利用の仕方によっては適切な判断・行動まで至ることも想定した。
訴求対象	子ども、子育て世代、働き盛り世代、地域リーダー
災害意識	「気づき」(意識レベルが高い層には「正しい理解」「適切な判断・行動」まで)
概要	災害当時の状況を具体的に伝えていただいた人物を 25 人程度選定し、話をしていたいただいた内容を 6 種類のテーマに分類し、それぞれのテーマに沿った 30 分程度の DVD を作成。
テーマ	<p>「語り部に聴く 天竜川の災害と教訓」</p> <p>平成 18 年 7 月豪雨災害 ～諏訪・岡谷周辺～</p> <p>平成 18 年 7 月豪雨災害 ～辰野・箕輪周辺～</p> <p>平成 18 年 7 月豪雨災害 ～伊那周辺～</p> <p>伝えたい災害とお話し ～伊那周辺～</p> <p>伝えたい災害とお話し ～飯田周辺～</p> <p>伝えたい災害とお話し ～駒ヶ根・中川周辺～</p>
構成	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>この記録は 天竜川流域で繰り返り起こった水害や土砂災害を 体験された方たちの貴重なはなしを 収録したものである ここで語られるはなしから 私たちは災害に立ち向かう知恵を学び そして、この記録を 将来再び訪れるであろう災害に備える ための次世代への教訓としたい</p> <p>冒頭はコンセプトである文章が ロールアップ</p> <p>天竜川の穏やかな画像を背景に、H18災はじめ36災・58災などの写真が断片的に入る</p> <p>タイトル 「語り部に聴く 天竜川の災害と教訓」 平成18年7月豪雨災害 ～諏訪・岡谷周辺～</p> <p>本編(取材内容の要約編集) 人物映像 Sさん(岡谷市運動部)</p> <p>Q 災害対応時の様子はどんな感じでしたか?</p> <p>エンドおさえ</p> <p>監修 天竜川上流域災害教訓伝承手法検討会 企画 国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 制作 日本工営株式会社</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(冒頭)</p> <p>この記録は 天竜川流域で起こった水害や土砂災害の 恐ろしさを 体験された方たちの 貴重なはなしを収録したものである ここで語られるはなしから 私たちは災害に立ち向かう知恵を学び そして、この記録を 将来再び訪れるであろう災害に備える ための次世代への教訓としたい</p> <p>(タイトル)</p> <p>語り部に聴く 天竜川の災害と教訓 平成 18 年 7 月豪雨災害 ～諏訪・岡谷周辺～</p> <p>(エンドおさえ)</p> <p>監修 天竜川上流域災害教訓伝承手法 検討会 企画 国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 制作 日本工営株式会社</p> </div> </div>

(2) 災害教訓伝承カルタ

目的	過去に天竜川流域で起きている豪雨災害について、災害を経験した様々な立場の人の災害教訓(知識、知恵)、また災害から身を守るために大事なことを子供に伝え、記憶に残すことが、いざというとき、子供たちの命を救うことになる。そこで絵札でイメージを湧かせ、読み札により大切な事柄を伝承することができ、内容を繰り返し遊んで学べる「災害教訓伝承カルタ」を作成した。
訴求対象	子ども、子育て世代
災害意識	「気づき」
概要	読み札はこれまでの災害教訓や古くからの言い伝えなどを基に自然、歴史、文化、産業、地名等郷土を代表する風土資産を読み込んでいる。また絵札には地域の美しい風土資源や読み札を分かりやすく解説するイメージ図を盛り込み、子供たちが楽しみながら学べるようにしている。
テーマ	読み札のテーマは「災害」が10、「災害教訓」が12、「土木遺構」が4、「歴史文化」が8、「伝説」が6、「自然・景観」が4となっている。また取り上げた事象に関わる地域は右図に示すようにほぼ天竜川全域にまたがっている。 詳しい内容は資料-2を参照。
構成	<p>カルタは50音「あ」～「わ」(「を」「ん」を除く)分の読み札、絵札により構成している(資料-5参照)。カルタイメージを以下に示す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: black; color: white; font-weight: bold;">絵札</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: black; color: white; font-weight: bold;">読み札</div> </div> <div style="border: 2px solid brown; padding: 10px; display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1; text-align: center;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">い の ち を 救 う</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">避 難 の 決 断</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">瀬 音 近 づ き</p> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;">  </div> </div>

災害教訓伝承カルタで取り上げた事象に関わる地域を地図にプロットした。

位置図



写真



(3) 災害教訓伝承データベース

<p>目的</p>	<p>伝承や過去の災害情報は防災情報として有用であると同時に、住民への防災啓発の際に不可欠の情報である。そこで、歴史災害による被災箇所、被災状況の情報について、災害事象及び教訓伝承の位置図をベースとしたクリックابل形式でのとりまとめを行った。なお、将来的にホームページ等に掲載し住民へ情報提供することに留意し、HTML形式で作成した。</p>												
<p>訴求対象</p>	<p>子育て世代、働き盛り世代、中高年層、地域リーダー</p>												
<p>災害意識</p>	<p>「気づき」、「正しい理解」、「適切な判断・行動」</p>												
<p>概要</p>	<p>クリックابلマップに掲載している災害カルテは、災害教訓伝承事例が177件、平成18年7月豪雨による主要災害カルテが33件である。 詳しい内容は資料-5参照。</p>												
<p>構成</p>	<div data-bbox="576 797 1161 1218" data-label="Image"> <p>天竜川流域災害教訓の伝承 平成18年度 はじめに・洪水被害・土砂災害・地震災害・治水被害・火災被害・火山災害・伝承事例まとめ 制作・著作：国土交通省 天竜川上流河川事務所</p> </div> <p style="text-align: center;">トップページのイメージ</p> <div data-bbox="416 1290 1326 1939" data-label="Image"> <p>伝承事例検索図</p> <p>災害伝承カルテNo.4</p> <table border="1"> <tr> <td>伝承名</td> <td>御室の赤石とあじ石</td> <td>1.5万回編名</td> <td>巻達</td> </tr> <tr> <td>市町村・大字名</td> <td>茅野市御室</td> <td>地点番号</td> <td>1940.0007</td> </tr> <tr> <td>発祥年代</td> <td>1940年(昭和15年)～1941年(昭和16年)</td> <td>関連する災害名</td> <td></td> </tr> </table> <p>キーワード <input type="checkbox"/> 災害によって建設された建物</p> <p>伝承内容 御室の赤石とあじ石 御室の赤石とあじ石の裏には急な崖になっていて、奥の人が川に落ちたところ、赤石の縁石が投げ込まれていた。赤石の急な崖の奥の奥には、急な崖がまた折れ曲がってあじ石が投げ込まれた。赤石は昭和15年ごろの洪水の被害を受けて壊れた。あじ石は、昭和15年の豪雨の被害のあとで壊れた。平成18年7月に同じ豪雨被害の境内に建設された。</p> <p>伝承事例 伝承内容 伝承の詳細</p> <p>写真・映像 あじ石(佐州の民謡伝承会蔵蔵6677)</p> <p>伝承関係 石井・伝承館 赤澤・石井 神田・伝承館 地名 土井・伝承館 あじ石とあじ石 あじ石とあじ石 あじ石とあじ石 あじ石とあじ石</p> </div> <p style="text-align: center;">災害教訓伝承カルテの展開例</p>	伝承名	御室の赤石とあじ石	1.5万回編名	巻達	市町村・大字名	茅野市御室	地点番号	1940.0007	発祥年代	1940年(昭和15年)～1941年(昭和16年)	関連する災害名	
伝承名	御室の赤石とあじ石	1.5万回編名	巻達										
市町村・大字名	茅野市御室	地点番号	1940.0007										
発祥年代	1940年(昭和15年)～1941年(昭和16年)	関連する災害名											

災害伝承カルテNo.145

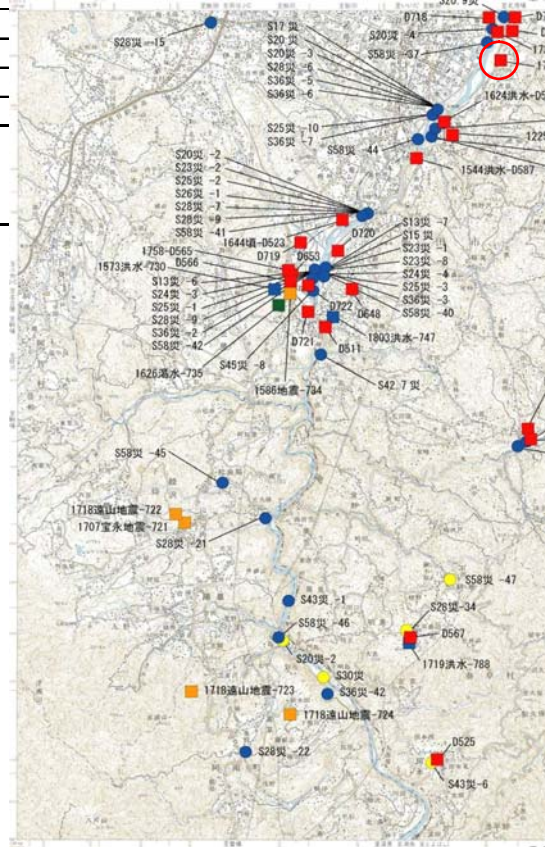
様式 -1

伝承名	北原の土石流	1/5万図幅名	時又
市町村・大字名	飯田市下久堅北原	地点番号	1715未満水-D591
発祥年代	1715年(正徳五年)	関連する災害名称	—
キーワード	○二次災害の教訓		
教訓・伝承事例	伝承内容	民話・伝説・普話(土砂)	
	伝承の詳細	○北原の土石流 「正徳五年(1715)の大洪水で、下久堅北原の裏の洞が一晩でぬけてきた。その際、天竜川の流木が多かったので、川端にそれを拾いに行った人たちが多く、虎岩の五右衛門と和久平の助次郎が流されて行方不明となった。」	
	伝承内容		
伝承媒体	写真・映像	—	
	石碑・記念碑	—	
	水神碑・石仏	—	
	神社仏閣・塚	—	
	地名	—	
	土木遺構等	—	
	語り伝え等	—	
	伝統芸能等	—	
	祭り	—	
	儀式	—	
	慣習・風習	—	
参考文献	「天竜川の災害伝説」pp.4-8.		

災害伝承カルテNo.145







様式 -2

事例



5万分の1地形図「時又」


(4) 語りつぐ天竜川「川の碑」

<p>目的</p>	<p>天竜川に多く残されている川の石碑について調査し、それにまつわる文献の掘り起こしと、現地調査を実施して写真を撮影し「語りつぐ天竜川」として編集した。</p>										
<p>訴求対象</p>	<p>中高年層、地域リーダー</p>										
<p>災害意識</p>	<p>「気づき」、「正しい理解」</p>										
<p>概要</p>	<p>対象となる石碑として、天竜川の治水や利水あるいは天竜川の流れを歌った短歌や俳句に至る石碑を総合的に検討して80事例の選出を行った。この中から冊子に掲載するための60事例を選出するにあたっては、信仰碑、記念碑、歌碑をバランスよく配分し、諏訪地域、上伊那地域、下伊那地域などの地域的なバランスも考慮しつつ決定した。</p>										
<p>構成</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">名称</td> <td style="padding: 5px;">与謝野晶子歌碑</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">所在地</td> <td style="padding: 5px;">岡谷市湖畔一丁目 岡谷湖畔公園</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">(写真)</td> <td style="padding: 5px;">(位置)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">  </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">  <p style="font-size: small; text-align: center;">国土地理院発行 1/50,000 地形図「諏訪」使用</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p>(解説)</p> <p>表 諏訪の湖天竜となる釜口の水しづかなり絹のごとくに 晶子 裏 おぼえがき 歌人と謝野晶子しばしば信濃路に来たる。たまたま大正十四年正月夫鉄幹画家石井柏亭らと岡谷の地に来遊、天竜河畔をおとずれ、この歌を詠む。このたび湖畔の天竜公園に文学碑建設の議おこり、岡谷市および岡谷商工会議所をはじめ同志相はかり、この地にこれを建立す 昭和四十七年四月二十八日</p> <p>与謝野晶子(1878-1942)は、堺市生まれ、新詩社に加入り、雑誌「明星」で活躍。歌集『みだれ髪』『舞姫』の他、他数多い。古典の現代語訳『新訳源氏物語』、女性問題、社会問題の評論にも活躍した。晶子は、大正十四年(1925)正月、夫鉄幹、石井柏亭らと下諏訪へ来遊、7日まで亀屋に滞在、この間岡谷の地にも足を運んだ。晶子は生前自分の歌碑建立について、気が進まない旨述べたことがあり、事実歌碑は少なかったが、このころは各地に続々と建立された。</p> </td> </tr> </table>	名称	与謝野晶子歌碑	所在地	岡谷市湖畔一丁目 岡谷湖畔公園	(写真)	(位置)		 <p style="font-size: small; text-align: center;">国土地理院発行 1/50,000 地形図「諏訪」使用</p>	<p>(解説)</p> <p>表 諏訪の湖天竜となる釜口の水しづかなり絹のごとくに 晶子 裏 おぼえがき 歌人と謝野晶子しばしば信濃路に来たる。たまたま大正十四年正月夫鉄幹画家石井柏亭らと岡谷の地に来遊、天竜河畔をおとずれ、この歌を詠む。このたび湖畔の天竜公園に文学碑建設の議おこり、岡谷市および岡谷商工会議所をはじめ同志相はかり、この地にこれを建立す 昭和四十七年四月二十八日</p> <p>与謝野晶子(1878-1942)は、堺市生まれ、新詩社に加入り、雑誌「明星」で活躍。歌集『みだれ髪』『舞姫』の他、他数多い。古典の現代語訳『新訳源氏物語』、女性問題、社会問題の評論にも活躍した。晶子は、大正十四年(1925)正月、夫鉄幹、石井柏亭らと下諏訪へ来遊、7日まで亀屋に滞在、この間岡谷の地にも足を運んだ。晶子は生前自分の歌碑建立について、気が進まない旨述べたことがあり、事実歌碑は少なかったが、このころは各地に続々と建立された。</p>	
名称	与謝野晶子歌碑										
所在地	岡谷市湖畔一丁目 岡谷湖畔公園										
(写真)	(位置)										
	 <p style="font-size: small; text-align: center;">国土地理院発行 1/50,000 地形図「諏訪」使用</p>										
<p>(解説)</p> <p>表 諏訪の湖天竜となる釜口の水しづかなり絹のごとくに 晶子 裏 おぼえがき 歌人と謝野晶子しばしば信濃路に来たる。たまたま大正十四年正月夫鉄幹画家石井柏亭らと岡谷の地に来遊、天竜河畔をおとずれ、この歌を詠む。このたび湖畔の天竜公園に文学碑建設の議おこり、岡谷市および岡谷商工会議所をはじめ同志相はかり、この地にこれを建立す 昭和四十七年四月二十八日</p> <p>与謝野晶子(1878-1942)は、堺市生まれ、新詩社に加入り、雑誌「明星」で活躍。歌集『みだれ髪』『舞姫』の他、他数多い。古典の現代語訳『新訳源氏物語』、女性問題、社会問題の評論にも活躍した。晶子は、大正十四年(1925)正月、夫鉄幹、石井柏亭らと下諏訪へ来遊、7日まで亀屋に滞在、この間岡谷の地にも足を運んだ。晶子は生前自分の歌碑建立について、気が進まない旨述べたことがあり、事実歌碑は少なかったが、このころは各地に続々と建立された。</p>											

(5) 災害教訓伝承パネル

<p>目的</p>	<p>天竜川上流域の過去の災害や、災害体験談、地域に伝わる災害にまつわるお話を誰にでも分かりやすくパネルとしてとりまとめを行った。また天竜川上流域災害教訓伝承手法検討会の活動についてもパネルでとりまとめ、伝承活動を広く地域へ発信することを目的としている。</p>
<p>訴求対象</p>	<p>子育て世代、働き盛り世代、中高年層、地域リーダー</p>
<p>災害意識</p>	<p>「気づき」、「正しい理解」</p>
<p>概要</p>	<p>パネルの内容は、天竜川上流域の主な災害(36 災害、58 災害、H18 災害)概要、災害体験談、災害にまつわる言い伝えと民話、天竜川上流域災害教訓伝承手法検討会について、川の豆知識という内容になっている。 詳しい内容は資料-5 参照。</p>
<p>事例</p>	<p>●平成18年災害</p> <p>2006(平成18)年7月15日から降り始めた雨は21日まで降り続き、各地に被害が続出しました。浸水面積は約558ha、被害家屋は、床上浸水1,076棟、床下浸水1,465棟の合わせて2,541棟にも及ぶ被害となりました。天竜川本川では、田畑等の浸水被害が12地区で発生し殿島橋が落橋した他、箕輪町松島地区で堤防が決壊するなど、飯田市から箕輪町まで広範囲に被害が及びました。</p> <p>天竜川各地の被害状況</p> <p>伊那市 中央橋 (7/19)</p> <p>箕輪町松島地区</p> <p>岡谷市 赤羽中山</p> <p>伊那市 殿島橋 (7/20)</p> <p>高森町 カヌー親水公園 (7/19)</p> <p>飯田市川路 かわらんべ前 (7/19)</p> <p>天竜川上流域河川事務所</p>

(6) 災害おはなしマップ

<p>目的</p>	<p>分かりやすく、目に見えて、手にとってもらえるものをコンセプトとして「過去の災害」、「災害に関する伝説や昔話」について小冊子にまとめた。</p>
<p>訴求対象</p>	<p>子ども、子育て世代、働き盛り世代、中高年層、地域リーダー</p>
<p>災害意識</p>	<p>「気づき」、「正しい理解」</p>
<p>概要</p>	<p>災害おはなしマップは、伊那市・飯田市に伝わる災害おはなしマップと中川村、高森町周辺に伝わるあばれ天竜まつわのおはなしマップの3種類からなる。効果としては、家族での対話ツール、親子での読み聞かせツールとして活用が期待できる。 詳しい内容は資料-5 参照。</p>
<p>事例</p>	 <p>The image displays three disaster story maps. The top map is green and titled '飯田市に伝わる災害おはなしマップ' (Disaster Story Map of Handa City). It lists legends such as '三日月の穴けた方が下を角めてゆるお産' and '高山に雲がかかると雨が降る'. The middle map is orange and titled '伊那市に伝わる災害おはなしマップ' (Disaster Story Map of Ina City). It lists legends such as '北風が吹くと大水がでる (京巻道)' and '高瀬へ雲が出るお近頃うちに雨 (奥谷)'. The bottom map is blue and titled 'あばれ天竜まつわるおはなしマップ' (Disaster Story Map related to Abare Tenryu). It features a collage of images related to the Tenryu River and its surrounding areas. All maps include the text '天竜川上流域災害教訓伝承手法検討会' (Tenryu River Upper Basin Disaster Lesson Inheritance Method Study Committee).</p>